学校番号	1006

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	自動車実習	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主教材（実習ノート）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

エンジンの分解・組み立て・整備等の実習を通じて『ものづくり』について学ぶ。周囲と協力して取り組むことで主体的に考え、協調性を身につける。安全について一人ひとりが考え取り組むことで安全から作業効率、道具・工具の取り扱い、それぞれを大切に使う、『ものづくり』の基礎を学ぶ。

2　学習の到達目標

（１）自動車整備にかかわる専門的な知識や技能を身に付けるようにする。
（２）自動車の機器の基本的な原理について考え追求し、それぞれの工程に必要な工具について自ら考えられるようにする。
（３）積極的に自動車整備に関する知識を取り入れ、前向きに作業に取り組もうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	機器の基本的な操作を学び、正しく工具を使用できる力を身に付ける。	機器の基本的動作原理を学び、作業手順、作業の安全を考え取り組むことができる力を身に付けるとともに、自ら判断して作業に取り組むことができる。	安全について十分留意して作業し、グループで協力して考え取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
通 年	エンジン分解組み立て・整備	OHV型エンジン 自動車の歴史や自動車の構造について 圧縮圧力の測定 シリンダヘッドの取外しなど オイルパンやピストンなどの取外し ピストンやシリンダなどの測定 クランクシャフトやバルブなどの測定 オイルパンやシリンダヘッドなどの取り付け エンジンオイルの補充や部品の取り付け エンジン試運転	a:機器の基本的な操作、正しく工具を用いて作業ができていているかどうか b:作業手順、作業の安全性、および個人、周囲に目を配り安全に留意し作業に取り組むことができているかどうか c:一人でなく協力して作業に取り組み、手順を考えながら分解組み立て作業ができているかどうか	正しく組み立てられる	正しく組み立てられる 選択工具の確認	作業観察

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度